

6/22 命と平和の尊さを学ぶ 平和集会

平和集会在坂田小学校の体育館で行われました。この集会は、沖縄でも戦争があった事実を知り、平和の大切さを考えることを目的に開催されたものです。



▲読みあいネットワーク
喜楽星7

集会では、読みあいネットワーク喜楽星7による「なきむしせいとく」の読み聞かせが行われたほか、6年生による「平和のメッセージ」の発信、児童の合唱と続きました。後半には、海勢頭豊さんが講師として登壇し、「月桃」が誕生した経緯や歌詞の意味などを話しました。その後、本人のギターと金城愛さんのバイオリンの美しい音色に合わせ、全校児童が「月桃」を合唱し、平和への思いを深めていました。

最後に児童代表の花城璃空さん(6年)が「戦争の恐ろしさや悲しさを忘れず、今ある平和や周りの人を大切にしながら、自分たちにできることを一つずつやっていきたい」と力強く誓いの言葉を述べました。



「月桃」を演奏する海勢頭豊さんと金城愛さん▲

6/27 第39回「若い経営者の主張発表大会」

中部地区商工会青年部の代表者が青年部活動を通じた経験や、地域への想い、経営者としての志を発表する第39回「若い経営者の主張発表大会・中部支部大会」(沖縄県商工会連合会中部支部・主催)がさわふじ未来ホールで開催されました。

西原町商工会青年部の垣花祐介さんが商工会に入り活動したことでできた「縁」から学んだ気づきと大切さについて発表し、優秀賞を受賞されました。



6/29 西原高校女子バレーボール部 3年ぶりの優勝を果たす

西原高校女子バレーボール部が「令和8年度沖縄県高等学校総合体育大会バレーボール競技」で3年ぶりの頂点に輝き、町役場で崎原町長へ優勝報告と全国インターハイへの意気込みを伝えました。

キャプテンの渡久山樹さん(3年)は「支えてくれた方々への感謝を胸に、最初で最後の全国インターハイに向けて頑張りたい」と決意を語ると、崎原町長は「怪我なく全国インターハイ優勝を目指して頑張してほしい」と激励しました。



7/5 みんなで 星くず(ゴミ)集め大会

西原きらきらビーチでゴミ拾いイベント「星くずチャレンジ～みんなで星くず(ゴミ)集め大会～」が西原町青少年健全育成協議会(池間守会長)の主催で開催されました。

この大会は、「CGG運動※1」の一環として行われ、親子や友人同士など約70名が参加しました。参加者たちは、3人一組のチームとなりビーチ周辺のゴミを集めて、ゴミの種類とポイントを競い合います。制限時間内に総重量73.573kgの星くず(ゴミ)が集められました。

一緒にゴミ集めと見守りに参加した仲盛教育長は「今日だけではなくこれからもCGG運動を続けていってほしい」と述べました。

閉会式終了後は、協賛企業のおキコ株式会社と森永乳業株式会社からパンとヨーゴの提供があり、参加者の皆さんに配られました。



パトラン西原グループ、西原町青年連合会、西原町子ども会育成連絡協議会のご協力のもと大会を無事開催することができました。ありがとうございました。

※1クリーン・グリーン・グレイシャス運動は「地域のこどもは地域で守り育てる」ことを目的としています。

7/6 広めよう 世界へ羽ばたく県産品



7月の県産品奨励月間を迎え、今年も西原町商工会の下地浩之会長と西原町観光まちづくり協会の近藤哲司会長から、崎原町長と大城純孝町議会議長へ地元産品地元企業優先使用の要請がありました。

町長は「今回の要請をしっかりと受け止め、町内産品および町内企業の優先使用を引き続き行い、商工会・観光まちづくり協会と連携して町の活性化に取り組んでいきたい」と話しました。

7/8 西原町シルバー人材センター 全国表彰報告表敬



(公社)全国シルバー人材センター事業協会が実施している安全就業優秀・優良シルバー人材センター等表彰において優秀賞を西原町シルバー人材センターが受賞し、その報告のため町役場を訪れました。

この優秀賞は会員の就業中における事故防止活動を積極的に取り組んだ全国のシルバー人材センター(1,337団体)からわずか11団体のみ選出されています。

会員向けに安全就業をテーマとした広報を発行し、会員の安全意識を醸成する独自の取り組みが高く評価されました。

7/15 大阪府泉佐野市と “ふるさと逸品協定”を締結しました

お互いの自治体の特産品や魅力をPRし、両自治体の連携・相互交流を促進することを目的として、大阪府泉佐野市と「ふるさと逸品協定」を締結しました。

昨年10月に東京都で行われたイベントに両自治体が出展したことが縁で今回の協定締結が実現しました。互いにPRする「まちの逸品」として、泉佐野市からは水なすと泉州タオル、西原町は沖縄そば、甕仕込泡盛、島豆腐、モリンガを活用した加工品を位置付けた内容になっています。

同様の協定を全国の自治体と結んでいる泉佐野市の千代松大耕市長は「関西国際空港に近接する街から、西原町をはじめとする全国の逸品をPRしたい」と語り、崎原町長とともに今後の緊密な交流と互いの地域の発展を確認しました。

7/7 社会を明るくする運動 メッセージ伝達式

「社会を明るくする運動」とは、犯罪や非行の防止と立ち直りについての理解を深め、明るく地域社会を築くための全国的な運動です。

このたび、保護司と更生保護女性会の皆さまから、崎原町長、大城純孝議長、仲盛教育長へそれぞれメッセージが伝達されました。

メッセージを受け取った崎原町長は「犯罪や非行から立ち直ろうとする人を支える活動にご尽力いただき深く感謝します」と述べました。



【伝達されたメッセージ】
・高市内閣総理大臣メッセージ
・玉城沖縄県知事メッセージ
・半嶺沖縄県教育長メッセージ

◀内閣総理大臣からのメッセージを西原強保護司が崎原町長へ手渡す様子。

7/10 中学生 合同フォーラム

「西原町・中城村・北中城村 中学生合同フォーラム」がさわふじ未来ホールで開催されました。

3町村の中学校の代表生徒が『当たり前の土台を築き、自主性のある学校をつくるには』というテーマのもと、自分たちができることは何かを真剣に考え、活発な話し合いが行われました。

フォーラム終盤では、参加生徒全員で『一人一人が相手の意見を尊重して安心して意見が言いやすい環境をつくる』というフォーラム宣言を行いました。



詳細は
こちらから▶



▲左:千代松大耕泉佐野市長/右:崎原町長